



【学校教育目標】

豊かな心と夢を持ち、たくましく未来を拓く生徒の育成

【本年度の重点目標】

○自分の考えを持ち、表現できる生徒（読む・説明する）の育成

○時間・掲示板を見て主体的に行動ができる生徒の育成

【雨降って地固まる】

5月19日（土）に開催した第9回体育大会は、右に示すスローガンの下、前日の雨でグラウンド状態は万全ではなく、肌寒い中ではありましたが、生徒のやる気で最後までやり遂げました。

3年生を中心に、係も競技者も職員も精一杯の力を発揮して、「挑み」、大きな怪我や事故もなく、滞りなく終わることができました。練習の不備な点を修正し、懸命に自分の役割を果たす生徒の姿を誇らしく感じた第9回の体育大会でした。



挑
(いどめ)
〜
己がやらねば誰がやる〜

大丈夫！まだいけるよ！

この言葉は長縄の練習中、1年生が3回ほどで引っ掛かった時、同じブロックの3年生が1年生にかけてくれた言葉です。これが、「何しよっと！ちゃんと飛ばんね！」だったらずいぶん感じ方が違います。



小さい子どもに「失敗しないように」と指示するより「上手にやってね」と指示する方が成功率が高くなると思います。

子どもにどんな言葉をかけて成功体験をさせるかはその後の生育歴に大きく影響します。

反面、失敗体験も必要です。最近、「〇〇を忘れたから持って行くので伝えてください」など、本人の失敗を保護者がカバーする内容の電話を多く受けます。

本人の過失を本人がどう対応するかも成長に必要な事です。社会で生きていくために、どこまで援助が必要か、ご家庭でも一考いただきたいと思います。

【体育大会の取組を通して見えた生徒の成長】

第4号の学校通信でお知らせしていましたように、本校の体育大会は

- ・生徒の自主的・自発的な活動で主体的な行動や態度を育てる
- ・規律ある集団学習で社会でも通用する態度を育てる

ことを主に目指して行いました。

集合時間を守り、美しく整列したり、係等の自分の役割を責任持って行ったり、リーダーとして指示する・リーダーの指示を実践したりする様々な経験を準備し、体育大会へ取り組ませました。

また、自分たちが作りあげたスローガンにこだわり、自分たちで決めたことを意識して行動することで、自分たちの言動に責任を持たせることにも取り組みました。

保護者の皆様には、体育大会に臨む生徒の姿はどのように映ったでしょうか。



- ① 声を出し、返事を大きな声で。きびきびと行動する。
- ② 私語をしない。きびきびと行動する。
- ③ 私語をしない。話をしている人の方を向く。
- ④ 掛け声、返事、校歌を大きな声で。行動にメリハリを。
- ⑤ 一人ひとりが声を大きく。きちんと礼を返す。
- ⑥ 係に責任を持つ。招集を素早く。
- ⑦ 相手に礼を返す。恥ずかしがらずに堂々と声を出す。

左の囲いは、体育大会の全体練習がある毎に生徒会執行部が立てた練習の達成目標です。

最初の方に比べ、「私語」を注意していたレベルから「姿勢」「返礼」「責任」と執行部の要求内容が「他者」や「集団」を意識するものになってきていることがわかっていきます。

まだまだ本校が最終的に目標とする生徒の姿までは不十分どころも多々ありますが、自立した集団の芽が育ってきていると思います。

今後も保護者の皆様と共に、生徒を鍛え、認め、見守っていききたいと思います。